

神戸の文化財はいま 〈その三〉

灘五郷・壊滅した酒蔵の町 新しい姿を探る中小の蔵元

大谷成章 〈本誌〉



上 沢の鶴資料館。県重要民俗文化財（建築）だった（1994年1月撮影）
下 酒蔵の建物は全壊。展示されていた酒造用具のうち、おけなどは破損したが大半は無事保存されている。近く再建にかかる予定（96年1月）

黒い瓦、白い壁、焼き板の腰。東西に伸びる長い棟。石畳の路地。路地に漂う芳醇な香り。

灘五郷の酒蔵は、江戸末期に確立した独特の構造をもっていた。伊丹・池田で栄えた上方の酒造りは、樽廻船によって江戸に運ばれるようになって需要が増える。輸送を拡大するには、海岸に近い酒造家が有利だ。灘の酒蔵が活躍するチャンスだった。



生産を拡大するために蔵を増やさなければならぬ。蔵は、広い空間をもつ工場建築だ。建築は、早く、安く仕上げたい。単純な構造がいい。松の木一本の梁の長さは二間から二間半。その制約で、合わせて棟幅八メートルから一〇メートルになる。六甲下ろしの冷たい風を取り入れ、寒造りをするために、北向きの窓を多く開けたい。棟は、おのずと東西に長くなる。六〇から八〇メートルもの長い棟もあった。

「建築文化史の視点からいうと、灘の酒蔵は日本の近代化過程の遺産です。橋や道路、水路のよな都市インフラ（基盤）と同じように、生産の



上 忠勇の蔵。こうした蔵が「酒蔵の道」の景観を生み出していた（92年5月撮影）
下 解体され、ブロック敷きの道だけが空しく残る（96年1月）

近代化を知るいい事例だったのです」

兵庫県文化財保護審議会委員で神戸大学工学部の黒田龍二助教授は「労少なくしてうまく作った江戸時代の工場建築」と酒蔵の歴史的価値を説明する。

文化的価値としてみれば別の側面がある。清酒の評価は、化学的、醸造学的分析数値では計れない。「灘酒沿革史」は灘の生一本の名声を支えている要因を 宮水 撰津・播州の米 吉野杉の香り 丹波杜氏の技量 六甲の寒気 大阪湾の湿気―の六つを挙げている。水、香り、風。その象徴が酒蔵の建物であり、町並みだったのだ。

いま現実にはステンレスタンクの中でコンピュータ制御され、年間醸造されていても、「生一本」を口に運ぶ瞬間、私たちは、寒造りの味・杉の香り・杜氏のもと摺り歌の響きを杯の中に見いだそ



右と同じ場所。ハーバーハイウェイの瀧大橋のアーチが見える(96年1月)



御影の浜に建っていた酒蔵。かつては蔵の前が海で、波返しがある蔵として知られていた(92年)

うとしている。夢幻を楽しむ一瞬だ。

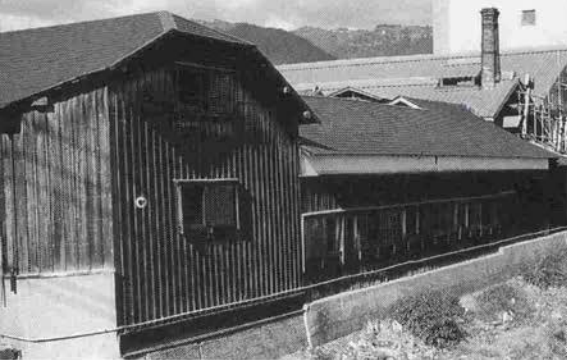
明治後期の「灘酒各醸造家造石高累年表」を見ると、灘五郷には四三〇軒の酒造家の名前が見られる。その後、吸収、合併が繰り返され、一昨年末では、灘五郷酒造組合加盟企業は五九社。江戸期から昭和初期までに建造された木造、煉瓦造りの酒蔵は約一〇〇棟あった。

震度7の烈震は、すべての古い酒蔵を破壊した。県の民俗文化財(建築)指定を受けている沢の鶴資料館、国の民俗文化財指定を受けている菊正宗の酒造用具、未指定だけでも三〇年前まで稼働していた白鶴の酒造資料館、一五〇年前に宮水を発見した山邑家(桜正宗)の住宅と甲、乙、丙の三棟の酒蔵、すべて倒壊し、傷を負った。酒蔵の歴史は、大地震の経験がない。風や台風に対する備えはあっても、地の揺れを想定して作られてはいなかった。

昨年一月末から二月にかけて神戸市内の酒蔵をくまなく見て回った黒田助教は、二つの蔵が辛うじて建っているのを見つけた。御影郷の剣菱・旭蔵と灘泉の蔵だった。旭蔵は、山側に二階建て、浜側に平屋が並ぶ重ね蔵の特徴をよく残していた。灘泉の蔵は、震災前にも使われていた現役の蔵だった。酒蔵を近代工場建築物として見たとき、いまでも働いている古い蔵は貴重な参考品だ。

黒田助教は、緊急調査の後、酒蔵の町の再建築を書き上げた。

「白鶴資料館を修理し、とりあえず他の蔵にある酒造用具を分散しないように収納する。旭蔵を



ただ1軒残った木造の酒蔵—石屋川尻の灘泉



補修された灘泉の蔵。白っぽいのは新しい柱



新しい酒蔵の街をめざす浜福鶴と五十畑支配人

沢の鶴資料館が菊正宗記念館に移して博物館にする」

しかし、この案をそれぞれの関係者に働きかける前に、旭蔵は解体撤去され、永遠に姿を消した。残されたのは灘泉蔵だけ。三代目の泉勇之助さんは「いま解体してしまうと仕事ができな」という。補修してこの冬の仕込みから使うことにした。壊れた古い屋根瓦は新製品に葺き替えられた。梁を支える支柱は形が変わったり、位置が変わったりしている。必ずしも正確な復元ではない。しかし骨格は残っている。

酒蔵の町は、試練に直面している。「町の景観としての酒蔵は必ずしも建築学上の厳密性を満たさなくてもいい。しかし、核になるものは、たとえ一棟でも本物がほしい」—黒田助教教授はほっとした。市教委も文化財指定に動き出した。

灘の清酒が「日本酒」を名乗り、全国に販路を広げ、大量製造へ発展する中で、中小メーカーは

別の行き方に挑戦している。「自然に逆らわず、伝統を継承した神戸の地酒」を目指し、昨年「神戸地酒金賞会」が結成された。灘泉、龍鯉、酒豪、福壽、大黒正宗などの商標をもつ五社だ。これら

中小蔵元は、酒蔵の町の景観により強く愛着を持っている。木造の蔵の中でコンサートを開いていた福壽の酒心館は来年には再建したいという。

魚崎郷の福鶴は、若い支配人を迎え、社名を浜福鶴に改めた。酒造りの全工程を見学でき、絞りを味わえる、瓦葺き、白壁の吟醸工房を間もなく完成させる。「酒蔵の町のイメージは大切だが、歴史そのものを建て直すことはできない。それよりも、味わってもらおう人たちと意思を通じさせることが大事だ」

—関東で修行し、灘で磨かれた五十畑孝支配人は、灘五郷の新しい時代に挑戦している一人だ。

〈写真P42〜44・米田定蔵〉

'96年神戸 酒徒番附 選考座談会

問われた実力 新人が続々台頭



西／経済人（審査員）

木下 健 〔三富商店取締役社長〕

寺本 滉 〔淡路屋取締役社長〕

角田嘉宏 〔有占特許事務所長〕

前田篤良 〔神戸新聞経済部長〕



寺本 晃さん



木下 健さん



前田篤良さん



角田嘉宏さん

―大震災で神戸の経済事情は激変した。大きな打撃を受けて、一時は立ち上がれないかと心配されていたが、多くの企業のがんばりは感服するところがある。番付も大変動があると思われるが、審査役に今回から前田篤良神戸新聞経済部長に加わっていただき、新しい視点からの判定を加えてもらうことにした。まずは三役から検討しましょうか。

★めざましいJ.R.、日銀の活躍

A ワールドの畑崎廣敏社長は日経新聞にいい随想を書いていた。今年六〇歳。この番付の定年を迎える。長い間活躍された功をたたえて横綱になってもいい。

B 本を出した人と言えは「阪神大震災―日銀神戸支店長の行動日記」を出版した遠藤勝裕の活躍は目覚ましかった。「神戸復興支援―何かを支店会」を組織して、神戸の経済界を元気づけたね。

C J.R.西日本の井手正敬社長のルミナリエの企画も大ヒットだ。二五〇万人以上が見に来た。

D 新幹線や東海道線の復旧も予定より早かった。殊勲賞だね。

A 大震災に加えて兵庫銀行の破綻もあった。大混乱を巻き起こしても



三宮「澤田」で

おかしくなかったのだが、震災と同じように神戸は冷静に対応した。遠藤支店長の働きが大きい。技能賞ものだ。

C 敢闘賞はJ.Cの指定席。前理事長の団秀和だね。

—三賞から決まって行く選考会は初めてのことだね。毎年だれにするか悩むのだけれど。それだけに大震災はできる人と落ち込む人をはっきりふるい分けたということだろうか。

B 三役に戻ると、横綱はほぼ安泰。関脇だったJ.Rの井手を大関に上げたい。

C 日銀の遠藤は初入幕。異例だけど、張出関脇に抜擢しよう。川西倉

庫の川西章二も大きな被害を受けながら港の復興に奮闘している。張出関脇から張出大関に上げよう。

★目立つ新人の大抜擢

A 和田興産のマンションは丈夫だったと評判が高い。和田憲昌も小結に昇格だね。地震で目立って来た一人だな。がんばったと言えば南京町の立ち上がりは目覚ましかった。華僑の人たちがみんなを元気づけたね。

B 南京町のだれを入れるか選びにくいが振興組理事長で広東料理民生の呉信就を南京町代表として前頭筆頭でどうだろう。

C 有馬も地味ながら努力している。それぞれの旅館が温泉を開放して銭湯がわりに入ってもらっていた。有馬の歴史で初めてのことだろう。

A ふろはうれしかったね。それを呼びかけたのが御所坊の金井啓修。新しいことに挑戦している。若いけれど組織力もある。

B 若いところでは洋服の柴田音吉。父が引退して跡を継いだ。本社は壊れたが、再建しながら東京の帝国ホテルに新しい店を出した。洋服の神戸というイメージを広げている。

D いいね。三星ベルトの社長になった西河紀男も一部上場企業として

よくやっている。ハイテク時代の波にも乗り、これからの活躍が期待できる。いい位置に来てよいだろう。

C 西川は前頭二枚目、金井もいきなり前頭というところか。

A 柴田はまだまだ若いから十両からスタートしてもらおう。

—打撃の大きい業界はどこだろうか。D 海運、清酒、ケミカルシューズなどが上げられる。しかし、乾汽船の乾英文、白鶴酒造の嘉納秀郎、沢の鶴の西村隆治などよくがんばっている。

B 地場産業のケミカル業界は苦しいが、バイタリティーがあり、身軽だから結構早く立ち直るのではないだろうか。

C 食品や製菓業も痛手を被っているが、新製品を出したり、早々と洋菓子祭りを開いたり、神戸ブランド健在をアピールしている。

A 真珠も木下真珠の木下章夫はフイリピンに合弁会社を作るなど、海外進出に意欲的だ。織維もファッション都市コウベのイメージをよく守っている。

—激震を乗り切る実力が問われ、番付に大波乱があったが、大震災二年目は新生神戸へ向けてそれぞれ神戸の経済人の健闘を祈りましょう。

(敬称略)

'96年神戸 酒徒番附 選考座談会

東／文化人〈審査員〉

武田則明 〈建築家〉

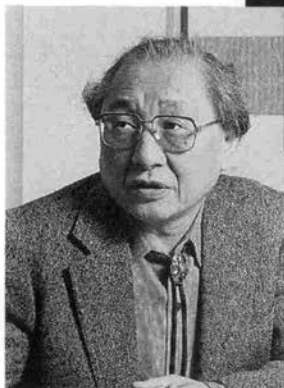
伊藤 誠 〈美術評論家〉

有井 基 〈フリーライター〉

スポーツなど 目立つ新入幕



武田則明さん



伊藤 誠さん



有井 基さん

「昨年の神戸は震災に明け暮れ、文化活動にも大きな変動があった。番付編成を通じて昨年の文化活動を振り返ってみよう。」

A 仰木彬ひきいるオリックスのリーグ優勝は震災などの暗い話題を吹き飛ばしたね。

B 大活躍のイチローは殊勲賞ものだ。「がんばろう神戸」のワッペンにどれほど励まされたか。

C 神戸製鋼ラグビー部の平尾誠二も健在だ。彼が試合に出るようになって調子がよくなった。

A ヴィッセル神戸の永島昭浩もよくなかった。

B 来期はJリーグに昇格してぜひ入幕してほしいね。

A 将棋では谷川浩司。七冠をねらう羽生善治の前に、ただひとり王将として立ちはだかっている。

B 内藤国雄にはもつとがんばってほしいね。

A 神戸市会議員に初当選した小乃里子は上位に食い込んでもいいんじゃないか。

B 海文堂の島田誠はアートエイドなどでがんばった。

C 震災がらみだと、草地賢一などの新しい名前も上がってくる。

A 東京から映画でお見舞いに来た映画監督の青池憲司はどうだろう。カトリック鷹取教会の神田裕神父がいろいろ世話したんだ。



ワールド三宮ビル10階「暮六亭」で

B 神田神父が代表の「FMわいわい」は井植文化賞も受賞した。正式免許も下りて、77・8MHzで新しくスタートした。

A 小林郁雄のグループもいい働きをしている。天川佳美らと被災地に花を植えたり、市民の復興ぶりを本にまとめたっている。

C 村上和子はよく動いているね。

A 異人館復興基金を設立した浅木隆子はプロデュースがうまい。

C 佐々木湘ことたつみ都志は、谷崎田邸「鎖瀾閣」の保存運動をよくやっている。「神戸っ子」に連載した「イノセント・イモラル・マミー」は新潮社から本が出るそうだ。

A 異人館保存では有村桂子だ。今回、番付上はご主人の重村力と交代してもらおうか。

B 県立近代美術館の木下直之がおもしろい本を出したよ。朝日新聞に連載したものでね。

C 津村喬を忘れちゃいけない。「神戸から」で気を吐いている。

B 河内厚郎も主に阪神間でだが、安定した活動をしている。

C 岡田淳の「こそあどの森の物語」は野間児童文学賞を受賞した。

A 音楽では、ピアノストの伊藤ルミが文化奨励賞を受賞したね。

B 中川博志もいい。

C 延原武春は風格からいうともっと上だよ。

A 震災レクイエム作曲の矢野正文も外せない。

B 舞台では、好き好きがあるだろうが大和松蔭ががんばっている。

C 若いひとでは、劇団おもちゃ箱のゆうきじゅんがいいよ。

A 落語の露乃団六ががんばった。

C 美術関係はどうかな。

A 大島幸子が亡くなったね。

B これからというときに…。定年で番付外だったが、津高和一、新谷英夫も亡くなった。

ね。休場ということにしようか。

A 植松奎二は東京でのパブリックアートが評判だった。

B 松谷武判と榎忠を合わせてよく活躍する三人組なんだが、少し入れ替えよう。

A 杉山知子を忘れていた。

C そうそう。サンクスのポスターがよかったね。

A 美人だし優秀だよ。「神戸から」の表紙を描いているワックンこと浦嶋克己もいいんだ。

B 仰木彬は横綱としてほかの三役はどう動くだろう。

A 大森一樹は「大失恋」「緊急呼出し(エマー・ジェンシー・コール)」と、ヒットを打った。

C 朝比奈千足は全国区だが、もつとがんばってほしいね。

B 三賞はどうだろう。

A 殊勲賞はイチローで決まりでしょう。

B そうだね。イチローあつての仰木彬だ。技能賞は島田誠かな。

C 須永克彦もよくやっている。二年連続で敢闘賞をあげたい。

A こうして見るとかなり変動があったね。

B 若手の入幕が目立つが、今年はやベテランにもがんばってほしい。

C 番付の変動ならいいが、大地の変動はもういいよ。

C 少し休んでもらったほうがいい

(敬称略)

附 番 徒

平成八年	西〈経済人〉										張出小結 大倉 昊 (化粧品)	張出小結 木下 章夫 (真珠)	張出大結 和 田 憲昌 (不動産)	張出開監 嘉納 秀郎 (清酒)	張出開監 遠藤 勝裕 (金融)	張出開監 細川 数夫 (繊維)	張出開監 川 西 章二 (倉庫)	張出大開 乾 川 英文 (海運)	張出大開 井 手 正敬 (鉄道)	張出横綱 上 島 達司 (野球)	張出横綱 伊 藤 研一 (食品)	横綱 畑 崎 廣敏 (繊維)
	前頭筆頭 吳 信就	前頭 西 河 紀男	前頭 岩 田 弘三 (食品)	前頭 西 村 隆治 (清酒)	前頭 小 田 俱義 (繊維)	前頭 岡 崎 晴彦 (繊維)	前頭 塚 本 哲夫 (食品)	前頭 河 本 武 司 (製菓)	前頭 林 博 和 (貿易)	前頭 五 代 友 和 (食品)	前頭 白 川 宏 隆 (食品)	前頭 水 垣 貞 雄 (船舶)	前頭 井 植 昭 一郎 (電子機器)	前頭 吉 岡 益 也 (食品)	前頭 藤 尾 啓 修 (旅館)	前頭 金 井 伊 修 (食品)						
司	田 崎 俊 作	瀧 川 博 司	樽 本 久	園 田 正 和																		
締役	秋 田 博 正	中 内 功	柏 井 健 一	鬼 塚 喜 八 郎																		
進元	神 戸 っ 子	編集室																				



杜氏とは、酒を造る職人の頭ですが、酒造りの職人を総称して杜氏と呼ぶこともあります。丹波地方は、日本最大の杜氏出身地で、江戸・宝暦年間における記録が残されているほど歴史があります。その丹波出身の杜氏の手によって銘酒・小鼓は醸造されています。

兵庫県水上郡市島町中竹田 (西山酒造場)
☎〇七九五(八六)〇三三一

技能賞 遠藤 勝裕	敢闘賞 団 秀和	殊勲賞 井手 正敬	勝負検査役 川上 孝 奥村 悠 杜山 弘之 山野 泉 山本 啓輔 市本 一 菊井 修 石阪 春生
〈西方〉取組場所			
足寄・飛鳥・アルパトロス・北野クラブ・トムキヤンティ・小万・土・セントジョージ・なぎさ・ピン・オルゴール・桂・アダルト・モンペリエ・ミレー・らうりん内田・シャンゼリゼ・カサフ・マイセン・カサフラン・カラフ・かけい・神戸製鋼所・マシシユダ・ルンビニ・フーライシユハート・億羅・ソネ・ライオン・フアジー・ニュース・ライス・レッドドア・レツドバリー・星光・ロールトレイ			
番附審査			
木下 健	寺本 混	角田 嘉宏	前田 篤良

酒 戸 神

蒙御免

行
望月 美佐
中西 勝
高橋 孟
元永 定正

取
陳舜臣
田辺 聖子
長部文治郎
朝比奈 健
木口 衛

勅
平成七年
十二月二十六日
選定

東〈文化人〉

横網	仰木 彬 (スボーツ)
張出横綱	谷川 浩司 (将棋)
張出横綱	大森 一樹 (映画)
大 関	野口 武彦 (文学)
張出大関	平尾 誠二 (スボーツ)
張出大関	小曾根 真 (音楽)
関 脇	小山乃理子 (放送)
張出関脇	朝比奈千足 (音楽)
張出関脇	吉田 泰巳 (筆道)
小 結	松谷 武判 (造形)
張出小結	内藤 国雄 (将棋)
張出小結	植松 奎二 (造形)

前頭筆頭	島田 誠 (書籍)
前頭	須永 克彦 (演劇)
前頭	杉山 知子 (造形)
前頭	若柳吉金吾 (邦舞)
前頭	榎 忠 (造形)
前頭	イチロ一 (スボーツ)
前頭	小室 豊允 (教育)
前頭	貞松正一郎 (洋舞)
前頭	岡田 淳 (漫画)
前頭	松本 幸三 (音楽)
前頭	玉岡かおる (小説)
前頭	伊藤 ルミ (ピアン)
前頭	佐々木 湘 (小説)
前頭	森崎 輝行 (建築)
前頭	木下 直之 (評論)
前頭	延原 武春 (音楽)

十両筆頭	津村 喬 (作家)
十両	河崎 晃一 (造形)
十両	河内 厚郎 (評論)
十両	小林 郁雄 (都市計画)
十両	大内 信行 (漫画)
十両	村上 和子 (企画)
十両	浅木 隆子 (地域活動)
十両	大和 松蒔 (邦舞)
十両	中川 博志 (音楽)
十両	神田 裕 (宗教)
十両	矢野 正文 (音楽)
十両	有村 桂子 (建築)
十両	露乃 団六 (落語)
十両	白羽 弥仁 (映画)
十両	湧井 克己 (イラスト)
十両	ゆうきじゆん (演劇)

技能賞 島田 誠
敢闘賞 須永 克彦
殊勲賞 イチロ一

砂 か む り
筒井 康隆
山本 芳樹
西村 功
藤本 ハルミ
鳥越 哲

〈東方〉取組場所

アテイフ、岩屋、エトワ、オアシス、おたやん、かてな、喜八、京、くれない、GEN、神戸時代、山梨六段、サントノレ、レ、繁、朝の堂、でつさん、嵐マ、フアーストバブ、ぼんくら、マコ、り、メイホフ、山宮屋、エルパンテ、北野、藤屋、カラス、エスプリ、まだ、コトバダジュール、栄球、テイバイテ、イ、千人代官、藤吉、スタイル、豊代

審査	武田 則明
有井 基	伊藤 誠
呼出し	小泉 康夫

晴雨不拘連日無休相勸申候



但馬は、兵庫県北部の雪国で、冬には山里で二メートルを越す積雪を見ることがあります。現在約二〇〇〇人の季節酒造工が全国の酒造場で生産に励んでいます。香住鶴の石津六郎翁は但馬杜氏の優秀な技術と伝統を受け継ぎ、労働大臣賞を受賞した名杜氏です。

兵庫県城崎郡香住町森 香住酒造有限公司
☎〇七九六(三六)〇〇二九

KIRIN 新鮮な明日へ

DO!
LAGER



麒麟ラガービール

ORIGINALLY BREWED, KIRIN LAGER MAKES
the mature, mel-
low, foamy head
a wonderful
refreshing taste and
生 low taste and
make Kirin Lager Beer
harmony of re-
fined quality.
非熱処理

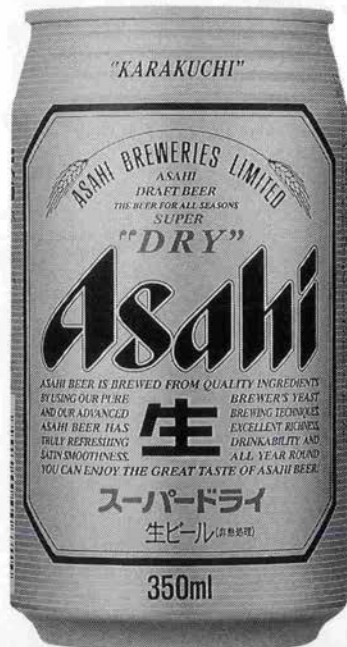


もっとキレ味、もっとだいご味
麒麟ラガー〈生〉

ビールは、20歳になってから。あきかんは、リサイクルへ。

Asahi
アサヒビール

この味、辛口。



アサヒ
スーパードライ

ビールは20歳になってから。
あきかんは、リサイクルへ。アサヒビール株式会社

特撰本醸造

神戸物語 新発売!

神戸発の特撰車が到着ーっ



酒っ酒っぽーっ

【神戸物語】1,650円 (1.8ℓ)
(通常価格2,200円)

—世界の洋酒・世界のワインが楽しめる—



株式会社

北野商店

本店 神戸市兵庫区中道通1丁目4番31号 TEL078(577)1181(代)
山の街店 神戸市北区広陵町1-8 TEL078(581)2377
須磨パティオ店 神戸市須磨区中落合2-2-1 TEL078(791)7171
プランティ店 神戸市西区梶台5-2-3 TEL078(992)0003

SAPPORO

よしもと 黒ラベル

今だ、生だ、
黒ラベル



黒ラベルくん(今田研司)

あきかんはりサイクルへ。
ビールは、20歳になってから。

サッポロビール株式会社



神戸市民の手でJリーグへ ヴィッセル神戸 SOCCER NEWS

—メキシコサッカー観戦記—

光のショーと

民族舞踊が始まる

サッカー試合

齋藤紀之（株式会社ウィッセル神戸）

会場の外には露店がいっぱい

10万人を収容するといわれる、メキシコシティ南部のエスタジオ・アステカ（アステカ・スタジアム）。単純だが、まずその大きさに驚かされる。郊外のロケーションもあり駐車場の大きさも尋常ではない。駐車場の前ではTシャツやキャップなどのグッズの露店が所狭しとならんでいる。スタンドの中に入ると4階で構成された観客席にまた驚かされる。



左から齋藤さん、ガイド役のホセリス、読売TVの館さん

最上段の一番安い席で徒党を組んで熱狂的に応援している層、正面の席でじっくりと観戦している人々、年間指定の個室（バルコ）で軽食をとりながら楽しんでいる家族など、それぞれの方法で観ているのだが、みんな一様にサッカーを楽しんでいる。

エンターテインメントしている

試合前のアトラクション

3試合を観戦したが、圧巻だったのが、アステカ・スタジアムのホームチーム「アメリカ」のゲームであった。

まずは試合前のアトラクション、何の前ぶれもなく会場内の全照明が消灯される。観客は一斉にざわつきだが、その次の瞬間四方から対角のスタンドに向けてレーザー光線での光のショーが始まる。最初は対戦相手の地方の民族舞踊の風景が繰り広げられるが、大半がホームのアメリカファンのため場内ブーイングの嵐となる。その後に応援歌とともにアメリカのマスコットである鷲が光で描かれると、みんないっしょになったの合唱がおこる。日本では、競技

ヴィッセル神戸からのお知らせ

来季の新戦力！移籍加入メンバー紹介

東 博樹（あずま・ひろき）

DF/MF・1966年7月10日・29歳・京都府・179cm・75kg・鴨沂高一同志社大ーガンバ大阪ー横浜フリューゲルス
ヘディングの競り合いに強く、粘り強いマークに定評のあるストッパー。守備的なMFもこなす。

雷 貴哉（ちよう・きよ）

DF・1969年1月16日・26歳・京都府（国籍は韓国）外国籍
外の選手・177cm・75kg・洛北高ー早稲田大ー柏レイソルー浦和レッズ
鋭い戦況判断と当たりの強さが光るセンターバック。浦和レッズではディフェンス陣の柱として活躍した。

神野 卓哉（じんの・たくや）

FW・1970年6月1日・25歳・埼玉県・180cm・73kg・修徳高ー横浜マリノス
抜群のスピードを生かした突破力を持ち味。左足を武器とするJリーグでも有数の俊足ストライカー。元日本代表。

森 直樹（もり・なおき）

DF・1972年5月5日・23歳・長崎県・182cm・75kg・国見高ートヨター名古屋グランパスエイト
空中戦に強くタックルもハードな大型センターバック。優勝した天皇杯1回戦ではFKから得意のヘッドで得点した。

河野 真一（かわの・しんいち）

FW・1969年11月5日・26歳・宮崎県・171cm・72kg・宮崎

中央高一ー大商大ーアルヘンチノ・デ・ロサリオ（アルゼンチン）ー浦和レッズ
ガッツあふれるプレーでゴール前へ飛び込む点取り屋。故障から復帰しサテライトリーグで活躍。元ユニバーシアード日本代表。

岩下 潤（いわした・じゅん）

FW・1973年4月8日・22歳・静岡県・173cm・70kg・東海第一高ー清水エスパルス
勝負強さを持ち合わせ、ゴール前での粘り強いプレーが特徴。今季サテライトリーグでは11試合で6得点を入れた。

●表記はポジション・生年月日・年齢・出身地・身長・体重・経歴・ワンポイントの順



メキシコシティのアステカ・スタジアム
は10万人収容できる

上の問題もあり、試合前に照明を落とすことなど考えられないが、観客を魅了する策はメキシコの方が一枚上手と脱帽せざるを得ない。

いよいよ試合開始、いきなり驚いたのはスローイン時。通常はタッチラインをボールが割るとボールボーイがそのボールを拾いについて、そのボールで試合再開されるが、メキシコのリーグでは、アメフトやバレーボールのように予備球が何個も用意されており、ボールがラインを割ると間髪を入れず、その予備球が投げこまれる。選手にとつてはインターバルが短くしんどいが、観客には大変スピーディーでどんどんと試合に引き込まれていく。

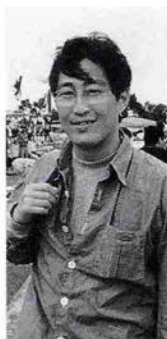
今度はアメリカのチャンス、ここでもまたビックリ。オンブレイ中にいきなり応援歌のサビの部分がいわゆるジングルの音響を通して流れるのである。私の感覚では、レフェリーがキックオフのホイッスルから前半終了までは、いわば神聖な時間であり、スピーカーで音楽を流すことなどは邪道という先人観があった。しかし、こちらは何でもありの感覚

で、観客もこのジングルに合わせて合唱し出すのである。これも合衆国のバスケットボールやアメフトの影響を多分に受けているのであろう。

おおらかさを感じた
メキシコサッカー

このように試合の運営自体は、アメリカンスタイル（会場演出を多く取り入れた形）であったが、選手自体のプレースタイルはいわゆるラテンフットボールの典型的なものである。スピード的には日本のJリーグと変わらないか、もっとゆったりしている程度だが、個人個人のテクニクのレベルは目を見張るものがある。シュートを打つたらと思うケースでも、わざわざドリブル突破を試みたりする場面に多々遭遇した。

メキシコのサッカー、私のイメージとはかなり違いがあったが、「そんな違いなどどうでもいいじゃない」と思わせてしまうおおらかさを至る所で感じる事ができた。短期間の滞在ではあったが、自分も少しばかりおおらかになれた気になつてきた。



斎藤紀之

プロフィール

昭和39年生まれ31才。神戸にプロサッカーチームをつくる市民の会「オーレ・KOBÉ」の事務局長から神戸ヴェルセル神戸へ、広く神戸市民に愛されるサッカーチームを目指し、営業・広報、またファンクラブの運営に活躍している。

がんばれ!! ヴィッセル神戸



鉄板焼&ローストビーフ
ウィンドーズ オン

ザ・ハーブスカイ

ランチ ¥1000~
ディナー ¥2500~
営業時間 11:00~22:00
年中無休

神戸市中央区東川崎町1丁目8-1
オーガスタプラザ17F
TEL078-360-6052/8451



北 欧 の 銘 菓

2-ハム-コンフェクト

代表取締役社長
西 正 興

【本 社】
神戸市西区北別府2-1-2
TEL078-974-9756 FAX078-974-9758
【ブライダルギフト事業部・大阪】
大阪市住吉区畑田町7丁目12-19
TEL06-697-9435 FAX06-697-4188

スペイン地方料理
COCINA ESPANOLA

ラス・ランブラス

Cas Ramblas

ランチタイム ¥1000から
夜のコース ¥3000から

営業時間 11:30~14:30
17:30~21:00

定休日 月曜日・第1日曜日

神戸市中央区京町83KDD神戸ビルB1
(市立博物館東向い)
TEL078-393-0730

フランス菓子&喫茶

トアロ・ド・トング

1F
フランス人シェフによる本格派
フランス菓子のショップ

2F
手づくりデザート、
アイスクリーム、フレンチサンド
などの喫茶室

神戸市中央区三宮町3丁目8-14
TEL078-391-5485